

第 5 章 實現化方策

第5章 実現化方策

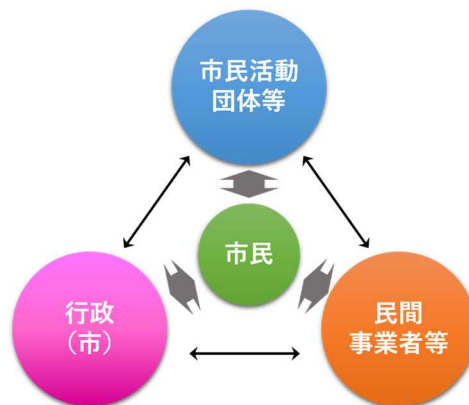
都市計画マスタープランを実現していくため、次の方策に取り組んでいきます。

1 まちづくりの推進体制

本市では、都市整備の方針の実現に向けて、市民を中心として、行政だけでなく、市民活動団体や民間事業者等を含めた協働によるまちづくりを進めていきます。

(1) 市民や市民活動団体等に求められる役割

市民や市民活動団体（町内会、市民ボランティア団体、NPO等）は、地域で抱えている課題について理解を深めるとともに、地域の活力や魅力を高めるための取組への積極的な参加が望まれます。



(2) 民間事業者等に求められる役割

民間事業者においては、今後のまちづくりの取組について、各企業の特徴を活かし、地域住民との積極的な交流や、CSR（Corporate Social Responsibility）活動（企業の社会的責任・貢献）等を通じて地域への貢献が望まれます。

また、公民が連携して公共サービスの提供を行う PPP（Public Private Partnership）や、公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行う PFI（Private Finance Initiative）等を導入することで、住民ニーズの変化や多様化への柔軟な対応、更には財政負担の軽減等の効果も期待されます。

(3) 行政の役割

市は、目指すべき都市の姿の実現に向け、必要となる取組を推進していきます。

また、地域との協働によるまちづくりに向け、個々の取組に必要な支援や情報発信等に努めるとともに、市民や関係者の意向を最大限尊重し、実現に向けた連携体制の構築を図っていきます。

(4) 周辺市町・関係機関との連携

本市は備後圏都市計画区域（福山市・尾道市・三原市・府中市）に含まれ、特に中核都市である福山市とは密接な関係にあります。これらの周辺市町とは互いに連携してまちづくりを進めていく必要があります。また、国や広島県等の関係機関との情報交換や相互協力も積極的に進めていきます。

序論

はじめに

第1章

府中市の現況と課題

第2章

目指すべき都市像

第3章

都市整備の方針

第4章

地域別構想

第5章

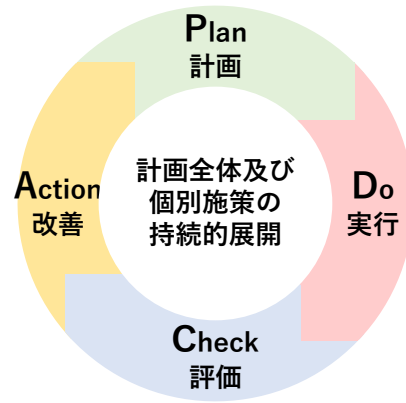
実現化方策

序論 2 計画の進捗管理と見直し

はじめに

(1) 進捗管理の考え方

本計画の推進にあたっては、計画及び事業についての目標設定を行い、その進捗状況等を定期的に確認し、その進捗について、PDCAサイクルによって、評価を行い、適宜、見直し・改善を進めていきます。



まちづくりに関する取組は、社会経済状況や周辺土地利用の変化等を踏まえ、長期的に取り組んでいく必要があります。各種の取組を効果的に進めるためには、取組の進捗管理や評価による適切な見直しを行います。

第1章

府中市の現況と課題

(2) 計画の検証・見直し

本計画の上位計画となる「府中市総合計画」、県が定める「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」との整合を図っていくために、概ね5年ごとに効果検証及び見直し（一部改定）を行っていくこととします。

第2章

目指すべき都市像

	年度																										
	2015	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043		
第5次総合計画		2020→2029																									
都市計画区域の整備、開発及び保全の方針		基準年：2015、目標年次：2030																									
都市計画マスタープラン		基準年：2020、目標年次：2032、将来展望：2042																									
		前計画の検証	計画の実行	計画の実行	計画の実行	計画の実行	計画の実行	計画の実行	計画の実行	計画の実行	計画の実行	計画の実行	計画の実行	計画の実行	計画の実行	計画の実行	計画の実行	計画の実行	計画の実行	計画の実行	計画の実行	計画の実行	計画の実行	計画の実行	計画の実行		

第3章

都市整備の方針

第4章

3 社会経済情勢の変化に合わせた見直しと新たな制度等の活用

都市計画マスタープランで示した方針や施策の実施は、限られた財源の中でより高い効果発現が得られるように、計画の実現性や事業の優先性、緊急性、都市整備上の効果等、総合的に判断して進めます。

具体的には、国や県の各種事業と連携しつつ、都市施設の整備（都市計画道路、公園・緑地、下水道等）、用途地域、風致・景観地区等の都市計画制度や事業を推進し、社会経済情勢等を踏まえた整備の推進と見直しに努め、実現性のある効果的なまちづくりを目指します。

第5章

実現化方策

4 都市整備に関する個別計画（整備プログラム）の推進

(1) 整備プログラムの考え方

まちづくりは多大な時間と費用を要するものであり、現実的には全ての施策に一斉に取り組むことはできません。そのため、整備効果・波及効果の大きさから早急に取り組むべき事業と、長期的な視点から取り組む事業を区分し、それぞれの施策を一つ一つ着実に進めていくことが必要となります。整備プログラムの考え方は次のとおりです。

① 都市の骨格軸・拠点の形成

本市は、これまでも都市計画道路の整備が進められてきているものの、未だ都市の骨格が形成されているとはいえません。したがって、まちづくりの大きな課題である人口・産業の流出を食い止めるためにも、引き続き、南北軸、東西軸をはじめとした「都市の骨格軸」の形成と府中駅周辺地区等の「拠点」となる地区の整備を進めていく必要があります。

② 地区の環境整備・地域の特色を活かしたまちづくりの推進

急速な市街化により、本市には基盤整備が遅れている地区が多くあります。これらの地区では、地元権利者の意向を踏まえながら、地区計画の策定等市民と行政の協働により、区画道路や小公園の整備等地区の環境整備を継続的に進めていくため、モデル地区での試験的な取り組みを早急に実施した後、市全体での環境向上へと発展させていきます。

豊かな自然や歴史的資源等魅力ある地域資源を有する地区については、市民を主体として、積極的に地域資源を活かしたまちづくりを推進していきます。

(2) 戦略的に取り組むべき事業

上記の整備プログラムの考え方を踏まえ、戦略的に取り組むべき事業として次の7点を位置付けます。

① 府中駅周辺市街地の魅力づくり

拠点整備が進められてきた府中駅北側に加え、駅南側にも生活の拠点を整備します。駅南側の整備にあたっては、賑わいのある空間づくりの実施計画を策定し、空間の有効活用を図ります。また、駅南北の連絡、既存施設と連携した広場や安全な歩行者空間を整備し、高齢者に加えて子育て世代も安心して過ごせる府中駅を中心とした生活中心街の賑わいを形成していきます。

② 石州街道の魅力づくり

歴史ある町並みが多く残る石州街道出口地区においては、その趣ある景観・建築物を観光に活かすため、「分散型ホテル事業」の展開等により、旧料亭旅館の複合施設「恋しき」を中心に周辺エリアの交流・滞在を促進するための魅力創出を図ります。

また、まちなかに残る歴史ある伝統産業の操業環境の保全に向けて取り組んでいきます。

序論

はじめに

第1章

府中市の現況と課題

第2章

目指すべき都市像

第3章

都市整備の方針

第4章

地域別構想

第5章

実現化方策

序論 ③スポーツや観光を核とした、魅力ある上下町の拠点形成に向けた総合的な取り組み

はじめに 上下運動公園の芝生グラウンド整備等のスポーツ関連事業を契機とした市全体の魅力創出を図ります。また、歴史ある町並みや翁座の保存・活用による交流と賑わいの創出を図ります。

④南北道路沿線の魅力づくり及び、産業振興を踏まえた道路整備

第1章 府中市の現況と課題 都市計画道路 栗柄広谷線（南北道路）沿線における商業系・工業系土地利用を配置した魅力ある沿道を形成します。また、既存の産業活動を支援する広谷元町線をはじめとする都市計画道路の早期整備を目指します。

⑤立地を活かした企業誘致による魅力づくり

第2章 目指すべき都市像 経済活動の活性化に向けて、栗柄地区等では地区計画による産業用地の確保及び新たな企業誘致を図るほか、三郎丸・河南・中須地区等では用途変更等による産業用地の確保を図ります。さらに、産業支援に資する各種支援制度の拡充を行います。

⑥集落市街地の魅力づくり

第3章 都市整備の方針 自然環境やキャンプ場等の点在する観光資源と伝統文化等、地域固有の資源を活かし、観光振興を視野に入れた地域ブランディングを戦略的に進めるほか、地域コミュニティの活性化につながる、関係・交流人口の増加に向けた取組を推進していきます。

⑦激甚化する災害への対策、安全安心な都市づくり

第4章 地域別構想 災害に強い道路整備や内水氾濫への対応としてポンプ場の整備等のハード対策を行うほか、市民の避難行動の強化に向けた、避難経路の明示や地区防災計画等の策定支援等のソフト対策についても進めます。

第5章

実現化方策

○整備プログラム

戦略的事業	取り組み		短期（概ね5年以内）	中期（概ね10年以内）	長期（10年以上）	
①府中駅周辺市街地の魅力づくり	駅周辺一帯の多様な施設の集積による賑わい・交流空間の創出	駅南の賑わいづくり	市民プールの整備			
			i-core FUCHU 第2期整備			
			PicLikePark（仮称）の整備			
		駅北の戦略的な空間活用	JR府中駅の駅舎・駅前広場の整備			
			図書館広場・駐車場の整備			
			公共公益施設の更新・集約（文化センター・TAM・教育センター等）			
	交通ネットワークの維持と利便性の向上に向けた交通結節点機能の強化	駅南北の連絡強化（南北分断の解消）				
	多様な人々が交流・滞在する河川空間の整備	駅周辺と結ぶPOM小路の整備 河川敷整備				
	誰もが安心して生活できる住環境の実現	狭小区画へのランドバンク事業の実施 子育て支援機能の充実・住宅支援				
	②石州街道の魅力づくり	町並みを活かした交流・滞在空間の創出	恋しき周辺への立ち寄りスポット、賑わい拠点の形成	分散型ホテルの段階的な整備		
店舗の誘致及び補助制度の拡充						
伝統産業の保全と観光振興			伝統産業の工場拡張に対応できる土地利用規制の緩和			
			伝統産業の観光への活用			
③スポーツや観光を核とした、魅力ある上下町の拠点形成	上下町の歴史的な町並みの保全と観光の魅力化		上下町の歴史的な町並みの保存・魅力化			
	スポーツを通じた交流による地域の活性化		翁座の耐震改修			
			芝生グラウンドの整備 整備後の地域一体的な魅力創出に向けた連携			
④南北道路沿線の魅力づくり及び、産業振興を踏まえた道路整備	南北道路完成を見据えた魅力ある沿道土地利用		南北道路〔（都）栗柄広谷線〕の整備			
	産業振興を後押しする道路整備		企業誘致に向けた取組の実施 産業振興を支援する（都）目崎出口線、広谷元町線の整備			
⑤立地を活かした企業誘致による魅力づくり	市内企業の生産活動の継続と新たな企業立地による府中市経済の活性化		用途地域の見直しによる産業用地の確保			
			企業誘致に向けた取組の実施			
⑥集落市街地の魅力づくり	地域資源を活用した戦略的なブランディングによる魅力創出		魅力あるキャンプ場づくり			
			自然体験型観光を契機とした地域とのつながり創出に向けた取組			
⑦激甚化する災害への対策、安全安心な都市づくり	激甚化する災害に備えたまちづくり	都市基盤の強化	災害ハザードエリアにおける土地利用規制			
			防災拠点機能・体制の強化			
			避難路の確保（狭あい道路整備事業の活用）			
			法面対策や橋りょう耐震補強			
			排水ポンプ場の整備			
			耐震化の促進			
	避難行動の強化	避難場所・指定避難所までの経路の明示				
		地区防災計画の策定に向けた支援				
	道路ネットワークの確保		多重型道路ネットワークの強化			
			歩道・自転車道などの快適な歩行・移動空間の確保			
快適な生活環境を支える下水道整備		合併処理浄化槽と併せた、汚水処理人口普及率100%に向けた下水道整備				

序論

はじめに

第1章

府中市の現況と課題

第2章

目指すべき都市像

第3章

都市整備の方針

第4章

地域別構想

第5章

実現化方策